



本日のテーマ「見た目に惹かれた本」

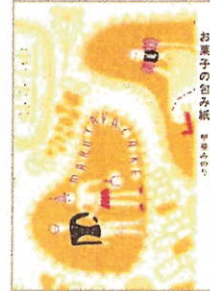
実施日：2017年11月25日



1 「お菓子の包み紙」

甲斐みのり／著 2017年 グラフィック社 【675.1】

お菓子や地元パン、郷土玩具、美味しい贈りものなどさまざまなテーマで本を作ってきた甲斐みのりさん。興味を持ちかけを紐解くと「包み紙」に辿り着くそう。『包み紙』も自覚する甲斐さんの20年分のコレクションがぎゅーしり



2 「Paper x paper」

中林うい／著 2005年 文化出版局 【754.9】

ほのぼのとした日常の風景を刺繍やアクリル、ステンシルでデザインしたバツグンな作家さんです。イラストもエッセイもかかれています。この本は、難しいようにみえて、実はわりと簡単に作れるものかと紹介されています。クリスマスカードや正月飾りと一緒に作ってみてはいかがですか？



3 「蚊がいる」

穂村弘／著 2013年 メディアファクトリー 【914 ホ】

ブックデザインは横尾忠則!! たた「ただ」見た目の蚊取線香の図柄に惹かれて手に取りました。どこから読んで面白く、思わずクスッと笑ってしまいます。P102「長友」このタイトルからは想像できなかった世界が、見開き2ページの中に...。又吉直樹との対談もおすすめです。



4 「リンドバーク」

トーベン・クールマン／作 金原瑞人／訳
2015年 ブロンズ新社 【Eリ】

絵本なのですが、少し古い本のような見た目かステキです。見開き11ページに絵が広がるページも9ページととても美しい!! 発明家の1匹のネズミが、空を飛ぶために頑張るお話。1匹で試行錯誤する姿が可愛いです。最後の余韻もいいなあと思います。「アムストロンク」宙飛ぶネズミの大冒険、もあります。



コケ、貝殻、猫、縄文、文房具、和菓子... テーマはいろいろです!

5 「ときめく図鑑 Book for Discovery、ときめく図鑑+ (プラス)」シリーズ

山と溪谷社 自然にココロときめく、森羅万象にココロときめくというコンセプトのときめく図鑑シリーズ。装丁がとりわけ美しいというわけで「はないのですか!」このサイズ感が手に取りやすく、気軽に読めて楽しめます。雑貨やコラムなども掲載されています。気になるテーマが、あたりぜん!!



6 「新選名著復刻全集近代文学館 吾輩ハ猫デアル」

名著復刻全集編集委員会／編集 1982年
日本近代文学館 【918シ 10】

明治38~40年にかけて出版された初版の復刻版です。初めて「ブックデザイン」を意識した本といえるそうで、本文ページが表紙から飛び出しているところなど、今見ても斬新です。挿画は、上編：中村不折、中・下編：浅井忠、装訂は橋口五葉と超豪華!! 「橋口五葉」西山純子／著 東京美術【721.9】もあわせてご覧ください。



7 「パンどうぞ」

彦坂有紀、もりといずみ／作 2014年 講談社 【EFバ】

シリーズに「ケーキやけました」「コロッケできました」もあります。クリームパンも、チーズケーキも、コロッケも、どれもとてもおいしそう!! どれも本版画なので、よく見ると本日がみえます。雑誌「MOE」2016年5月号に制作過程が載っています。



8 「神秘大通り 上・下」

ジョン・アーヴィング／著 小竹由美子／訳
2017年 新潮社 【933ア】

物語の舞台はメキシコ。本作は何と完成するまでに25年という熟成期間を経ているそうです。カバーのイラストは、上下巻で並べると、つながるようになっていきます。ターコイズブルーと金の箔押しがメキシコ風? 表紙に惹かれて、こんな長い長い物語を読んでみるのもいいかもしれません。

